

被爆・戦後80年

日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）のノーベル平和賞受賞から一年

# 核兵器も戦争もない 世界を求めて

～記憶を受け継ぎ未来へ～

ノーモアヒバクシャ／NoMoreHIBAKUSHA

参加者  
募集

締切：9月20日

参加申込方法等、詳細は  
裏面ホームページより  
順次ご案内します



2025年

10/11(土)

開場：12:00  
ホワイエ企画12:00開始  
ホール企画13:00開演

有楽町朝日ホール

東京都千代田区有楽町2-5-1  
有楽町マリオン11F

※ホール入り口／映画館チケット発券機横のエレベーターで11階までお越し下さい

参加費・  
参加人数

会場参加大学生以上1,000円、高校生以下500円(定員:636名)

オンライン参加1,000円

※ホワイエ企画のみ参加の方もチケット購入をお願いします



JR (山手線・京浜東北線) 有楽町駅 中央口または銀座口  
東京メトロ (丸ノ内線・銀座線・日比谷線) 銀座駅 C4出口  
東京メトロ (有楽町線) 有楽町駅 D7出口 いずれも徒歩1~2分

主催・問い合わせ

「核兵器も戦争もない世界を求めて～記憶を受け継ぎ未来へ～」実行委員会 連絡先：日本青年団協議会  
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-1 日本青年館5階 E-mail: hibaku80@dan.or.jp Tel: 03-6452-9025

# ノーモアヒバクシャ／NoMoreHIBAKUSHA

## 企画主旨

被爆・戦後80年という重要な節目の年を迎えるにあたり、2024年のノーベル平和賞に日本被団協が選ばれました。日本被団協は、これまで「核兵器廃絶」「原爆被害への国家補償」の二大要求を掲げ、証言活動をはじめとする様々な活動を通じて、ふたたび被爆者をつくらないとの願いを国内外に伝えてきました。こうした長年にわたる努力の積み重ねが、核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)が2017年にノーベル平和賞を受賞したことや、2021年に核兵器禁止条約が発効したことに大きく寄与しています。

しかしながら世界から核兵器を廃絶する道のりは依然として険しいままです。日本政府は世界唯一の戦争被爆国を標榜しながら、核兵器禁止条約への

署名・批准はおろかオブザーバー参加すらも拒み続けており、核兵器無き世界への働きかけを行う様子は未だありません。

このような状況だからこそ、私たち市民にはさらなる行動が求められます。次の世代が日本被団協の運動に学び、そして被爆された方々の記憶を継承することを通し、核兵器も戦争もない国際社会を築いていかねばなりません。そのために、日頃から平和な社会の実現に取り組む運動団体が中心となり被爆・戦後80年企画の実行委員会を立ち上げ、年間を通して核兵器廃絶などの課題に取り組む活動の実施を呼び掛けるとともに、平和を願う集会を実施します。

## 当日のプログラム 12時00分 開場 受付

※12時～15時30分 ホワイエ企画

①ポスター展示 ②戦争経験者と語ろう ③物販 ④メッセージボード作成 ⑤映像から学ぼうなどの催しを実施

13時00分 ホール企画開演

オープニング ○開会挨拶 ○オープニングムービー

13時25分 ノーベル平和賞受賞報告

13時40分 朗読劇「そこに声があれば～今、未来に～」

脚本・演出／丸尾 聡 歌詞／山谷典子 作曲／高崎真介

14時20分 リレートーク

15時00分 ホール企画閉演

エンディング ※引き続きホワイエでの催しをお楽しみください

15時30分 ホワイエ企画終了

最新情報はこちら



## 事務局団体／被爆・戦後80年企画実行委員会事務局

日本原水爆被害者団体協議会、日本生活協同組合連合会、日本青年団協議会、新劇人会議、原水爆禁止日本国民会議、原水爆禁止日本協議会、全国空襲被害者連絡協議会、ノーモアヒバクシャ 記憶遺産を継承する会、ピースボート事務局、核兵器をなくす日本キャンペーン、一般社団法人かたわら